

会 記・Proceedings

1990 年度第 2 回役員会

1990 年 6 月 6 日 (水)、於東京水産大学水産資料館 2 階会議室

出席者: 落合、上野、富永、多紀、本間、沖山、高木、加福、新井、佐藤、松浦、丸山、宮、馬場、藤田

会長から役員会の新役員として加福、高木両氏が紹介された。

1. 前回議事録の確認。
2. 報告事項。編集: 37 巻 1 号は 6 月 15 日発行の予定。名簿作成のための会員カード、今年度の秋のシンポジウムの会告を掲載。37 巻 2 号には本論文 10 篇、短報 5 篇を掲載する。手持ち原稿 50 篇。来年度から多紀保彦氏が編集主幹を担当する。庶務: 講演要旨の購入の希望団体には学会事務センターを通じて販売するようにする。
3. 投稿規定、会則、会員名簿等を特別号 (supplement) として発行する (担当は佐野氏)。来年度に 15 巻 1 号以後の総合目録 (author index, 新種の索引等) を作成することになった (担当は富永氏)。
4. 国際魚類研究会議事務処理委員会委員は同委員会規定に基づき、次の 9 氏に決まった。なお、任期は 1991 年度末まで。委員長は落合 明 (会長)、委員として岩井 保 (副会長)、谷内 透 (会計幹事)、丸山 隆 (庶務幹事)、新井良一 (編集幹事)、役員会の推薦により会長が委嘱した上野輝彌、岡村 収、尼岡邦夫、本間義治の各氏。
5. 魚類学会年会は今まで参加費をとらず、講演要旨代を参加費がわりとしてきたが、参加費と講演要旨代を分け、参加費 1,000 円、講演要旨代 1,000 円 (実費) とすることに決まった。
6. 役員会の交通費の支給について会計幹事に検討を依頼することにした。
7. その他。

1990 年度第 3 回役員会

1990 年 9 月 12 日 (水)、於東京水産大学資源育成学科 会議室

出席者: 落合、岩井、上野、多紀、本間、加福、新井、佐藤、松浦、丸山、藤田

1. 前回議事録の確認。
2. 報告事項。編集: 37 巻 2 号は 9 月 13 日発行。37 巻 3 号は 17 篇の予定。手持ち原稿 54 篇。会員名簿の

作成は 6 月末日で会員からの葉書を締切り、8 月 3 日にゲラ刷を編集幹事に配布し訂正をした上で学会事務センターへ印刷を依頼。庶務: 来年度の文部省からの助成金は 210 万円の内示があった。第 15 期日本学術会議会員の選出に係る学術研究団体の登録申請 (6 月 30 日締切) をした。

3. 奄美大島におけるリュウキュウアユの保護対策の要請について。
魚類学会会員の琉球大学西田 陸氏ほか 6 氏の連名によるリュウキュウアユの保護対策の要請 (資料添付) について協議した結果、詳しい状況を把握した上で学会として何らかの対応をすることにした。
4. その他。

日本学術会議だより No. 18 (1990 年 8 月)

日本学術会議では、現在、第 15 期会員 (任期: 1991 年 7 月 22 日から 3 年間) を選出するための手続きが進められている。今回は 942 の学術研究団体から登録申請があった。推薦人会議により、1991 年 6 月上旬までに、会員として推薦すべき者 210 人が決定する予定である。

本会議が、関係学術研究団体と共同主催する学術関係国際会議は、1991 年度には第 22 回国際動物行動学会議 (1991 年 8 月 22 日 - 29 日、京都市) など 6 会議とすることが、6 月 19 日の閣議で了解された。

会 員 移 動 (1989. 6. 1-1990. 9 30)

| 氏名 | 移動前所属 | 移動後所属 |
|-------|--------|--------|
| 落合 明 | 東京水産大学 | 東京水産大学 |
| 岩井 保 | 東京水産大学 | 東京水産大学 |
| 上野 輝彌 | 東京水産大学 | 東京水産大学 |
| 多紀 保彦 | 東京水産大学 | 東京水産大学 |
| 本間 義治 | 東京水産大学 | 東京水産大学 |
| 加福 隆 | 東京水産大学 | 東京水産大学 |
| 新井 良一 | 東京水産大学 | 東京水産大学 |
| 佐藤 隆 | 東京水産大学 | 東京水産大学 |
| 松浦 隆 | 東京水産大学 | 東京水産大学 |
| 丸山 隆 | 東京水産大学 | 東京水産大学 |
| 宮 崎 隆 | 東京水産大学 | 東京水産大学 |
| 馬場 隆 | 東京水産大学 | 東京水産大学 |
| 藤田 隆 | 東京水産大学 | 東京水産大学 |